



龍のまなび舎 No.27

須坂高校のまなびを紹介する不定期ニュースレター
北信「五岳」にちなんだ、須坂の5つのゴガクを紹介します

教育実習が行われています



5月末から、教員免許の取得を目指す本校の卒業生たちが教育実習を行っています。生徒を前に緊張する姿は、先生たちがみんな通ってきた道。暖かくも厳しい視点で応援しています。生徒として授業を受けている時には、1時間の授業を行うのにこんなにも下準備が必要なのだという事になかなか気づきません。ある研究では、もっとも効果のある学習方法は、実験や視聴覚教材の利用を抑え、「人に教えること」とであるとされています。今月末は定期考査②が待ち受けています。机に向かってガリガリする勉強の合間に、実習生の先生方を見習って、誰かに「教えて」みる、「説明して」みることを試してみるのも良いかもしれません。そして、皆さんの中からも、教育に関わってみたいという人が生まれるといいなと期待しています。



【公共 滝澤先生】



【情報：的場先生】



【卒業生と語る会：小松先生】

探究テーマ策定中です

2年生の探究は、グループも決まり、いよいよテーマを決定していきます。実はここが

須坂高校探究テーマの条件

1. 自分（たち）の興味関心に基づいていること
2. 調べ学習で終わらないこと
3. 仮説を立てられること
4. 高校生で検証可能であること
5. 社会的な意義があること

一番の難関。特に須坂高校では、探究テーマの設定に条件があります。



これらをクリアして初めて調査や検証が始まるのですが、これがなかなかの難題。誰も向き合ったことのない問い、誰も正解にたどり着いていない問いを探すのはなかなかなのです。

この日の授業では、担任の先生方が各グループと面談を行い、条件に合っているか、何が足りていないかなどをアドバイスしました。手足、頭をできる限り動かさずに真理に近づくことが「良い」とされている現代社会の一側面があります。でも私は、どんなことに対しても、その本質に迫ろうと足を止める人が、この須坂高校から誕生して欲しい、そう願っています。

